（その2）

在庫変動報告（ICR）

INVENTORY CHANGE REPORT

工場又は事業所コード ORGANIZATION 1 4	施設コード FACILITY 5 8	核燃料物質計量管理区域コード MBA 9 12	報告期間 年月日から年月日まで PERIOD COVERED BY REPORT 13 FROM 18 19 TO 24	報告番号 REPORT No. 25 28	エントリー行数 No. OF LINE ENTRIES 計量データ ACCOUNTANCY DATA 29 30	注釈データ CONCISE NOTE DATA 33 34	扱者氏名 SIGNATURE 63 77	80
（注４）	（注５）	（注２）	（注3）	（注１）	（注６）	（注７）	（注８）	1

核燃料物質計量管理区域コード MBA 1 4	報告番号 REPORT No. 5 8	エントリー番号 ENTRY No. 9 10	データ継続コード CONTI-NUATION 11	在庫変動年月日 DATE OF INVENTORY CHANGE 12 17	受払等の核燃料物質計量管理区域コード MBA/COUNTRY FROM 18 21	TO 22 25	在庫変動コード TYPE OF INVENTORY CHANGE 26 29	測定者コード KMP 30	バッチ名又は番号 NAME OR NUBER OF BATCH 31 38	バッチ単位体数 NUMBER OF ITEMS IN BATCH 39 42	物質記述コード MATERIAL DESCRIPTION 43 46	計量データ ACCOUNTANCY DATA 供給国コード ORIGIN OF MATERIAL 47 50	元素コード ELE-MENT 51	元素重量 WEIGHT OF ELEMENT 53 60	単位 UNIT 61	核分裂性物質重量 WEIGHT OF FISSILE ISOTOPES 63 70	同位体コード ISOTOPE CODE 71	測定ベースコード MEASURE BASIS 72	注釈コード CONCISE NOTE 73	データ修正 CORRECTION TO 報告番号 REPORT No. 74 77	エントリー番号 ENTRY No. 78 79	80
（注２）	（注１）	（注９）	（注10）	（注11）	（注12）		（注13）	（注14）	（注15）	（注16）	（注17）	（注18）	（注19）	（注20）	（注21）	（注22）	（注23）	（注24）	（注25）	（注26）		2
																						2
																						2
																						2
																						2
																						2
																						2
																						2
																						2
																						2
1 4	5 8	9 10	11 12	17	18 21	22 25	26 29	30	31 38	39 42	43 46	47 50	51	53 60	61	63 70	71	72	73	74 77	78 79	80

頁中　頁

注１　国際規制物資の使用等に関する規則第48条第３項、第７項、第８項若しくは第10項の規定に基づき提出する全ての報告書又はこれらの規定により提出した報告書について同条第12項の規定に基づき提出する同条第３項若しくは第10項の報告書を修正するために提出する全ての報告書につき、核燃料物質計量管理区域（以下「ＭＢＡ」という。）ごとに「０００１」から欠番、重複のない一連の番号を記載すること。

２　計量管理規定で定めたＭＢＡの符号を記載すること。

３　在庫変動、受払間差異、リバッチング又は区分の変更による数量の変動（以下「在庫変動等」という。）の生じた日を含む期間の始まりと終わりの年月日を記載すること。ただし、報告期間は前回の報告期間と連続させることとし、終わりの年月日については実在庫量の確認を行った場合は実在庫量の確認を行った日、その他の場合は月末とすること。

４　工場又は事業所ごとに国に登録する符号を記載すること。

５　施設ごと又は施設外の場所ごとに国に登録する符号を記載すること。

６　当該報告書の下欄に記載する内容（以下「エントリー情報」という。）の行数の合計を記載すること。

７　エントリー情報に対する補足説明（英語で記載することとし、空白も含め１行は49文字とする。また、対応するエントリー番号も記載すること。以下「注釈」という。）を当該報告書に添付する場合は注釈の行数の合計を、添付しない場合は「００」と記載すること。

８　報告書の作成者又は計量管理責任者の氏名を英字で記載すること。

９　各エントリー情報につき「０１」から欠番、重複のない一連の番号を記載すること。

10　イ　報告するバッチに含まれる元素区分が２種類以上である場合又は元素重量若しくは核分裂性物質重量が８桁を超えることにより、複数行で報告する必要が生じる場合は、当該欄の２行目以降に「Ｃ」と記載すること。

ロ　既に報告したデータを削除する場合は「Ａ」と記載すること。

11　在庫変動等の生じた年月日を記載すること。

12　いずれか一方の欄に当該ＭＢＡの符号を記載し、他方の欄には相手がある場合のみ相手先のＭＢＡの符号を記載すること。

13　次の表の左欄に掲げる原因又は事項に応じ、それぞれ右欄に掲げる符号を記載すること。

在庫変動	輸入	ＲＦ
	国内受入れ（国内の他のＭＢＡからの受入れ）	ＲＤ
	開始点受入れ（国内の製錬事業者の工場又は事業所からの受入れ）	ＲＳ
	核的生成	ＮＰ
	用法免除再適用（用法を理由として保障措置が免除されていたものの保障措置の再適用）	ＤＵ
	量的免除再適用（量を理由として保障措置が免除されていたものの保障措置の再適用）	ＤＱ
	保管廃棄再生（保管廃棄された廃棄物からの回収）	ＦＷ
	事故増加（予期しない発見による核物質の増加）	ＧＡ
	輸出	ＳＦ
	国内払出し（国内の他のＭＢＡへの払出し）	ＳＤ
	前段階戻入れ（国内の製錬事業者の工場又は事業所への戻入れ）	ＳＳ
	核的損耗	ＬＮ
	用法免除（用法を理由とする保障措置の免除）	ＥＵ
	量的免除（量を理由とする保障措置の免除）	ＥＱ
	適用終了（非原子力利用され回収が実行不可能となることを理由とする保障措置の終了）	ＴＵ
	保管廃棄（廃棄物がＭＢＡ内に保管される場合の廃棄）	ＴＷ
	測定済廃棄（原子力利用にはもはや適さないような方法で廃棄された操業上の損失）	ＬＤ
	事故損失	ＬＡ